

# 「グローバル・キャンペーン2005」

## その3 ~カナダとアメリカのキャンペーン~

今年のG8サミットがスコットランドで開催され、アフリカが主要な議題にあがっていることも大きく関係していますが、イギリスのキャンペーン、「貧困を過去のものに (Make Poverty History)」はとくに大きな盛り上がりを見せています。とはいえ、キャンペーンが着々と動いているのはイギリスだけではありません。

カナダのキャンペーンは、英語でイギリスにならって、「貧困を過去のものに」、フランス語で「貧困を撲滅しよう (Abolissons La Pauvreté)」と命名されています\*1。2015年までに、先進諸国が対外援助の国際目標である国民総所得 (GNI) の0.7%を達成するよう、多くの国での働きかけが本格化していますが、そもそもこの0.7%というターゲットを最初に示したのは、1969年、カナダの自由党政権でした。カナダの現在の援助額はGNI比で約0.3%。キャンペーンでは、0.7%達成のためには、今後3年間は年間12%の増額、その後は2015年まで年間15%の増額が必要だと説いています。

国際的な柱である援助、債務、貿易の3本柱に加えて、カナダのキャンペーンは、国内の子どもの貧困撲滅を4つ目の柱として掲げています。カナダ下院議会は、1989年に、2000年までに子どもの貧困をなくすと宣言しました。しかし今日、国内の6人に1人、約100万人の子どもが貧困状態にあるとされているのです。こういった国内問題と途上国の貧困問題を同列に取り上げることが、世論喚起を図ろうとしていることが、カナダのキャンペーンの大きな特徴のひとつになっています。

2月11日には、オタワの議事堂広場でキャンペーンの立ち上げ式が行われました。これに参加したコメディアンメアリー・ウォルシュ氏は、「最初に聞いたときは、どだい無理なことをと思った

が、マンデラ氏が2月上旬のG7蔵相会議の際にスピーチしたように、奴隷制や人種隔離政策と同様、貧困も人間がつくり出したものであり、人間の行為によって克服できる」と、キャンペーンに賛同した理由を語っています。

一方、アメリカでは、ワン (One) ・キャンペーンが立ち上がっています\*2。はじまりは、2004年5月で、イギリスやグローバルなキャンペーンとの関連で始まったわけではなく、昨年の大統領選挙に向けて、貧困やエイズの問題に関する米国民の関心を深めようと、NGO11団体の連携プロジェクトとして始まったものです。その後、グローバル・キャンペーンの始動にあわせ、アメリカでのキャンペーン担い手となりました。ワン・キャンペーンの「ワン」には、「みんなで力を合わせて」、「ひとりひとりが」、「一歩一歩」といった意味が込められています。加えて、2010年までに米国家予算に占める開発や人道支援向けの予算を1%上乗せしようというかけ声としても使われています。

アメリカのキャンペーンでも、援助、債務、貿易の3本柱は掲げられています。多くの事業型NGOは、債務や貿易に関する立場を明確にしていなかったため、政策的なすりあわせは簡単ではないようです。また、現在のブッシュ政権は、テロ対策との関連で開発や人道支援には熱心な一方、開発資金のニーズなどにおける姿勢や個別具体的な方針ではNGOと対立することも多くなっています。



CSOネットワーク  
共同事業責任者

今田 克司

CSOネットワーク  
(www.csonj.org)

国際協力や開発援助の諸活動にシビル・ソサエティを巻き込み、参加を促すことで、一人ひとりの尊厳が保障される社会の実現に寄与する。おもな活動に、CSO(市民社会組織)や国際協力に関する調査・研究、情報発信、異なるステークホルダーの連携促進、貧困削減を目指すグローバルなキャンペーンへの参加など。

Eメール info@csonj.org  
URL www.csonj.org



ホワイトバンドを掲げるカナダ国際協力協議会のクリステン・オストリングさん

NGO連合体のインターアクションでは、6月の年次大会のメインテーマをミレニアム開発目標 (MDGs) にするなど、キャンペーンのてこ入れをするためのイベントづくりを準備しています。世界の貧困に対する世論喚起をめざした一般への働きかけに関しては、教会、あるいは教会系のNGOを通じた活動は盛んですが、芸能人を活用したメディア作戦などは、これから火をつけようとしている段階です。

G8サミットは7月。そしてMDGsの進捗状況を議論する国連総会は9月。それぞれその国の事情によってキャンペーンの形や仕組みは異なりますが、世界共通なのが、ホワイトバンド(手や腕やモノや建物に巻く白い布)をキャンペーンの象徴として使うことです。あなたもホワイトバンド、手に入れてみませんか?

\*1 www.makepovertyhistory.ca

\*2 www.one.org